

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	重症児デイサービス l i e t o		
○保護者評価実施期間	令和6年 10月 1日		～ 令和6年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	令和6年 10月 1日		～ 令和6年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年 11月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われている	各個人ファイルにまとめておりいつでも確認できるようになっている 看護記録など職員間のノートがあり、休んでいたスタッフにも何が合ったか、支援をこうするなど情報が得られやすくしている	医療的ケアの必要な利用者様の各自のファイルの作成をし、看護師や支援員がそのお子さんの情報を知る物がすぐ見られるようにする 状態やケアの内容が変更になった場合はすぐに訂正をして、看護師達に分かるようにしていく
2	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会がある	例えば、嚥下に対応したトロミ剤の種類や効能の勉強会をした時には言語聴覚士からのアドバイスをもらい、実際に口にしてのど越しや食品の味の変化などじっくり勉強会をする	定期的に来る社会福祉協議会の研修に参加し、レポートを作成し他のスタッフに周知できるようにする 自選、多選それぞれにある
3	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか	しきりで個室化し配慮をしている	将来的には天井からカーテンレールを引いて高学年の子どもに配慮したケアができるように検討中
4	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携し支援を行う体制を整えている	毎月嘱託医の訪問がある 各保健センターの担当者と連絡をとっている 他、訪問看護ステーション等	今後は子どもが通っている療育センターとの情報のやりとりをもっと広げたいと思っている
5	定期的に通信などを発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	毎月 l i e t o 通信をカラーで発行し、季節の行事や創作活動、お出掛けの様子をお知らせしている また、LINEを利用して子どもの保護者へ通知している事でデイ内の様子が連絡帳で文字として知るよりも分かりやすと好評	LINEで毎回お知らせをする事が叶わなく、気を付けていきたいと思えます

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点などを共有しているか	送迎から戻って環境整備を終わる頃には定時を大幅に過ぎてしまふ事があり（特に学校の休校日で放課後等デイサービスの子どもが利用する日）、毎回はできていない	気付いた点などの共有はスタッフ間のノートに書きこんでミーティングができる時に打ち合わせなど工夫する
2	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか	事業所から招待する事がなかなかできていないが、地域のお祭りや近隣の学校の運動会の見学には参加している	いつか事業所が中心となってイベントやコンサートを開催し近所の方を招待したいと思っている そうする事で事業所を利用している子どもの理解を深めたい

3	保育所や認定こども園、幼稚園との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会がない	外から運動会の様子を散歩の時にみかけるくらいになっている	機会があれば交流してみたい 同じ年ごろのお友達の障害を知るのに良いと考える
---	--	------------------------------	--